

「地区中総体開幕！週末は、陸上！卓球！バドミントン！頑張ってこい！」

生徒指導通心
第6号

縁(えん)

妻ヶ丘中生徒指導部
令和4年6月3日発行



いよいよ6月に入りました。6月といえば、梅雨。じめじめと雨が続く季節がやってきます。今週は、どちらかという晴れが続きました。季節は、確実に「夏」に向かって進んでいますね。また、6月は唯一祝日のない月でもあります。知っていましたか？アニメ『ドラえもん』で、のび太が6月に祝日がないことに対する不満から、ドラえもんのひみつ道具である「日本標準カレンダー」を使って6月2日を「ぐうたら感謝の日」という架空の

祝日を制定したことがあるそうです。(笑)

さて、今週は、31日(火)に地区中総体のトップをきって水泳競技が行われました。それぞれが全力を出し切ってくれたことと思います。出場した選手の皆さん、本当にお疲れさまでした。引き続き、4日(土)5日(日)は、陸上競技・卓球競技・バドミントン競技が開催されます。まずは、ベストの体調で挑むことだと思います。朝夕の気温差がまだまだ大きいですね。油断することなく、本番に備えてください。健闘を祈ります！



★大切なことを教えたサッカー日本代表★

前号では、大谷翔平選手の「ゴミを拾う」ことについて、紹介をしました。

今回は、数年前に韓国で開催されたワールドカップ(U-20)でのサッカー日本代表の出来事です。

韓国で注目されたのはピッチ上の行動だけではない。韓国『スポーツ朝鮮』が伝えたのは日本代表選手たちのマナーの良さだ。

同メディアによると、試合後の日本のロッカールームは驚くほどキレイだったという。今回取り上げられているのはグループステージ第3戦のイタリア代表戦後のものだが、日本代表チームはロッカールーム内で普通にゴミとペットボトルをそれぞれ分別してゴミを出していたのだ。

テーブルには「ゴミ」、「ペットボトル」と書かれたガムテープが貼られた2枚のゴミ袋が並んでおり、紙コップなどは「ゴミ」の方にとキレイに分別されている。これには韓国人スタッフも驚かされたようで、「ロッカールームにゴミがない。分別までされている」と驚きの声を挙げている。

同メディアは「過密日程の今大会で疲労を溜めるスタッフが、仕事の手間を省く日本の選手たちの配慮に感謝の気持ちを抱いた」と伝えており、日本の選手たちは礼儀の部分も忘れていなかったようだ。

また、同メディアは選手だけでなく日本人サポーターはあらゆる大会でスタンドを掃除していることも取り上げており、盛り上がる応援のあとでもマナーを忘れないことに驚いている。ベスト16敗退は残念だったが、こうしたピッチ外での行いもしっかりと評価されるべきで、これも1つの文化として今後も続けてほしいところだ。



結果だけ見れば、ベスト16敗退と悔しい結果に終わりました。

しかし、勝ち負けも大切な部分ですが、勝負以上に「人として」大切な部分を教えてくれたエピソードではないでしょうか。この記事を目にしたとき、心の底から喜びを感じました。日本を代表する選手たちを、誇りに思いました。私は何もしていないのに、自分がしたかのように胸を張ることができました。

さあ、地区中総体に挑む生徒の皆さん。そして、それを応援する生徒の皆さん。考えさせられるところではないでしょうか。妻ヶ丘中の代表として、頑張ってほしいと思います。競技だけでなく、このような面でも活躍できる妻ヶ丘中であってほしいと思います。頑張れ！妻ヶ丘中！